

日時：平成26年12月9日（火） 14：00～17：00

場所：南部身体障害者福祉会館 参加人数：27名

初参加：地域相談支援センターいっしょ、第2いけがみ

## 1. 意見交換会 テーマ「資源不足」

【児童期】【成人期】【高齢期】の3グループに分け、意見交換会を開催した。

### 【児童期】

乳幼児期から特別支援学校卒業まで継続した支援を行うためのサポートノートがある。また、児童の相談窓口が分からないという声が挙がっている。こども部会では、各児童の機関の業務と役割について今年度中にまとめる方向。さらに療育センターの役割を①先天性の障害のある児童（重症心身障害児）が退院し、地域生活に戻る際の支援②健診時に保健所から紹介され、相談を受ける。ことばがでない等。③幼稚園、保育園で集団生活に馴染めず、相談を受ける。④学齢期の不登校相談。⑤親の障害受容に関する支援。⑥発達検査と整理した。

次回は小学部以降に関する意見交換も行いたい。

### 【成人期】

1 日中活動従事者のナイトケアと、2 就労系及び地域活動支援センターの休日を含めた余暇活動についての課題整理を行う。1について調査の必要性があると意見が出、来年度はナイトケアについてニーズ調査を区の協議会として行いたい。2については精神障害・知的障害・発達障害など障害の状況により課題が異なる。いずれの場合もキーパーソンの確保が望ましいが、精神状態や本人の理解力の課題などもあってすべてのケースで実現することは困難。就労支援の現場では、1日、あるいは1週間、1か月などのスパンで、本人の課題をいかにつかむかが重要である。

知的障害の場合、一度安定して就労できればその生活を維持しようとして、本人は継続するべくかなり努力をしている場合が多く、逆に少し休んだり、本人の能力とのギャップを解消するような支援が必要になることもあるという意見が出されていた。余暇活動のあり方、定着支援について具体的に何かを行うべきなのか、については次回に持ち越しとなった。

### 【高齢期】

6～8月に整理した課題の中で「グループホーム」についての意見が多く、テーマを絞り課題整理を行う。62歳知的障害の男性、や45歳ダウン症の男性のホーム利用で見た課題を例に挙げ、日中休みたい時があっても障害のホームには日中世話人がいないため、家で休めない。段差や手すりなど、ホームの環境が高齢の身体に合わないなどの課題が出た。さらに、高齢（介護保険）サービスと障害サービスとの違いを比較する。例えば、①トイレは障害ホームに1箇所しかなく、高齢の利用者が困っている。高齢のホームは一般的に2箇所以上ある。②高齢者の看取りに対する体制や心構えが異なる。③障害のホームで食事形態など配慮があるところもある。④健康面に問題なく生活出来ている75歳の知的障害者もいる④視覚障害に対応したホームは少ないなど意見が出た。最後に高齢の障害者をサポートするため日中活動の場としてできることを話し合い、本人の意見を尊重し、身体に合わせて作業内容を考える。慣れた通所先から移行したくない方が

いれば、作業場を2階から1階に移すなど工夫するなど意見が出る。他都市では利用者の年齢別に合わせたプログラムを実施しているところもある。

## 2. 委員会活動

「広報」…パンフレットたたき台をもとに、最終チェックを行う。6点ほど最終変更点が上がり、最終確認を行う。次回完成版（案）を作成後、全体会議で共有する。配布目的を再度委員で共有する。あくまで作成するものは掲示用であり、協議会の内容が一目で分かる詳細版は次年度以降発行するか再度検討。

「当事者参加」「研修」…2月12日の協議会で田島支援学校高等部の見学と生徒会からお話を伺う件について、研修委員会と合同で打合せを実施。日時・場所・内容・タイムスケジュールを決定する。次回全体会議の開催通知で案内を行う。生徒会への質問は事前アンケート実施予定。

## 3. 事務連絡

- ・ ナイトケアについてチラシの案内（ほっとライン）
- ・ 川崎市地域自立支援協議会の報告（かわさき基幹）…各区の取り組みについて共有。
- ・ 課題整理ワーキングの報告（いっしょ）…KJ法を用い課題整理した。くらし部会ではGHや日中活動、精神障害がある方の医療との関係などの意見を出し合った。
- ・ 第2回広報ワーキングの報告（大師支所）…各区の取組みの報告と、市協議会のパンフレット残部数を把握。
  
- ・ 次回日程 平成27年1月13日（火） 14:00～17:00 南部身体障害者会館で行います。